

分野名	専門分野	科目名	基礎看護学実習Ⅰ
単位数	1	授業時間数	45
開講年次	1年次	開講期間	通年

目的	健康維持増進又は療養、治療の目的で、通院又は入院生活を送る地域に生活する人々の健康上のニーズを知り、健康状態の各期に必要な健康管理行動や医療・看護についてに基礎的知識・技術・態度を養う。
実習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域に生活する人々の健康上のニーズの充足と病院機能との関連について知る。 2. 患者と良好な人間関係を築くために、コミュニケーション技術を活用することがわかる。 3. 患者のニードを知り必要な援助方法がわかる。 4. 安全・安楽に考慮した援助を実施できる。 5. 実施した援助について振り返ることができる。 6. 看護学生として適切な態度で実習することができる。

実習計画

		学習内容	担当
1. オリエンテーション	前半実習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習における心得 <ol style="list-style-type: none"> 1) 守秘義務 2) 体調管理 3) 感染管理（手指消毒剤・ポシェットの配布） 4) その他 2. 実習をすすめるうえでの注意事項 3. 基礎看護実習Ⅰ前半実習の概要 <ol style="list-style-type: none"> 1) 実習目的・実習目標 2) 実習方法（行動目標・学習内容・学習方法） 3) 実習スケジュール 	実習調整者 基礎看護学教員
	後半実習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習における心得 <ol style="list-style-type: none"> 1) 守秘義務 2) 体調管理 3) 感染管理（手指消毒剤・ポシェットの配布） 4) その他（出欠席表の管理方法など） 2. 実習をすすめるうえでの注意事項 3. 基礎看護学実習Ⅰ後半実習の概要 <ol style="list-style-type: none"> 1) 実習目的、実習目標、学習方法 2) 実習スケジュール 3) 評価 	実習調整者 基礎看護学教員

	<p>4. 実習記録の使い方 1) 記録の書き方 2) 記録の整理方法 3) 記録の提出方法</p> <p>5. 臨地実習における振り返り（日々の振り返り・5日間のまとめ） 1) 振り返りのテーマ 2) 運営方法</p> <p>6. 実習施設を利用するにあたっての注意事項</p> <p>7. リーダー・サブリーダー・グループとしての心得</p> <p>8. 1日のグループ予定の作成方法</p>	基礎看護学教員
2. 事前学習 *後半実習のみ	<p>1. 既習学習・援助技術の復習（授業資料を別ファイルにまとめてくる）</p> <p><視点>環境、活動（姿勢）・休息、清潔、食事、排泄、バイタルサインや状態、感染管理</p>	基礎看護学教員
3. 病院オリエンテーション	<p>(前半)</p> <p>1. 病院の概要</p> <p>2. 病院内見学</p> <p>(後半)</p> <p>1. 付属病院のみ病院内見学</p>	<p>病院担当者</p> <p>実習指導者</p>
4. 病棟オリエンテーション	<p>1. 病棟の概要と特徴 1) 施設、設備、物品の保管・管理 2) 入院患者の特徴と看護体制 3) 病棟の週間予定と1日のスケジュール 4) 事故防止、感染予防、災害時の対処方法 5) 電子カルテの閲覧方法</p> <p>2. 実習における諸注意</p> <p>3. 受け持ち患者の紹介挨拶</p>	実習指導者
5. グループ別オリエンテーション	<p>1. 基礎看護学実習の概要に沿った内容を説明 1) 病棟紹介 2) 患者情報（未設定の場合あり） 3) 実習スケジュール 4) 具体的な実習のすすめ方（挨拶・記録含む） 5) 実習における心得の再確認 6) グループ目標・個人目標の設定 7) 感染管理の確認（マスク、フェイスシールド着用・病棟内手洗い） 8) 評価表のつけ方について</p>	実習担当教員

実習スケジュール

<前半実習>

日数	学習内容の概略
1日目	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション：病院の概要 ・病院内見学 ・地域学習
2日目 1組	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟内見学
3日目 2組	<ul style="list-style-type: none"> ・療養環境見学・観察 ・患者への看護の実践と観察の見学（シャードウイング） ・病棟内での学びの振り返り

<後半実習>

日数	学習内容の概略
1日目	<p>情報収集と整理、病棟で行われている援助内容の見学 オリエンテーション、患者へのあいさつ、同意書説明 患者の把握、患者とのコミュニケーション 振り返り</p>
2日目	<p>患者の把握、患者とのコミュニケーション・情報収集と整理、患者に必要な援助の見学・実施 援助実施前・中の患者の状態の確認・援助実施後の振り返り、援助の報告</p>
3日目	患者の把握、患者とのコミュニケーション
4日目	<p>患者に必要な援助・援助実施前・中・後の患者の状態の確認 援助実施後の振り返り、援助の報告</p>
5日目	<p>患者の把握、患者とのコミュニケーション 患者に必要な援助・援助実施前・中・後の患者の状態の確認 援助実施後の振り返り、援助の報告 5日間のまとめ、今後の課題</p>

評価	評価は、実習内容・実習態度・実習記録について評価表に基づき評価する。
----	------------------------------------

分野名	専門分野	科目名	基礎看護学実習 II
単位数	2	授業時間数	90
開講年次	2年次	開講期間	前期

目的	ヘンダーソンの看護論に基づいた看護過程のプロセスを体験して、看護を実践する基礎的な知識・技術・態度を養う。
実習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護に必要な情報を収集する。 2. 情報を分析・解釈する。 3. 看護問題を明確化する。 4. 看護問題の解決に向けて、看護計画を立案する。 5. 看護計画に基づいて援助を実施する。 6. 実施した援助の結果を評価する。 7. 医療チームの一員として責任ある態度で実習することができる。

実習計画

	学習内容	担当
1. オリエンテーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習における心得 <ol style="list-style-type: none"> 1) 守秘義務 2) 体調管理 3) 感染管理（手指消毒剤） 4) その他 2. 実習をすすめるうえでの注意事項 3. 基礎看護学実習の概要 <ol style="list-style-type: none"> 1) 実習目的、実習目標 2) 学習方法 3) 実習スケジュール 4) 評価 4. 記録用紙の使い方 <ol style="list-style-type: none"> 1) 記録の書き方 2) 記録の提出方法 5. カンファレンスの進め方 	実習調整者 基礎看護学教員
2. 事前学習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発達課題 2. 病態生理・主な症状、治療・処置・検査、看護 3. 基礎看護技術 4. 看護過程 	基礎看護学教員 実習担当教員

3. 病棟オリエンテーション	1. 病棟の概要と特徴 1) 施設、設備、物品の保管・管理 2) 入院患者の特徴と看護体制 3) 病棟の週間予定と1日のスケジュール 4) 事故防止、感染予防、災害時の対処方法 5) 電子カルテの閲覧方法 2. 実習における諸注意 3. 受け持ち患者の紹介、挨拶	実習指導者
4. グループ別オリエンテーション	1. 患者情報 2. 実習スケジュール 3. 具体的な実習のすすめ方 4. グループ目標・個人目標の設定 5. 感染管理の確認（フェイスシールド・マスク着用・病棟内手洗い）	実習担当教員

実習スケジュール

週数	日数	学習内容の概略
1週目	1日目	病棟オリエンテーション アセスメント：情報収集 情報の確認・整理 カンファレンス
	2日目	アセスメント：情報の確認・整理、情報の分析・解釈、看護問題の明確化 病態についての指導
	3日目	実践活動外学習
	4日目	アセスメント：情報の確認・整理、全体像（関連図）の活用、看護問題の明確化 優先度の高い（病態を含んだ）アセスメント1項目を発表
	5日目	アセスメント：情報の確認・整理、全体像（関連図）の活用、看護問題の明確化
	6日目	アセスメント：情報収集 情報の確認・整理、看護問題の明確化、全体像（関連図）の活用 看護の方向性について指導（優先順位の高いアセスメント2項目：4日目の1項目含む）
2週目	7日目	看護計画発表（優先順位の高い2項目の看護計画）
	8・9日目	看護計画に基づいた援助の実施 看護計画の追加・修正、経過記録について指導 カンファレンス
	10日目	看護計画に基づいた援助の実施 3者面談
	11日目	看護計画に基づいた援助の実施 学習のまとめ
3週目	12日目	実践活動外学習

評価	評価は、実習内容・実習態度・実習記録について評価表に基づき評価する。
----	------------------------------------